

施策カルテ

1 施策の位置付け

担当課 道路建設課

総合計画 政策の柱	都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	取組の 基本方向	「円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する」ため、公共交通で円滑な移動ができるようになるための「公共交通ネットワークの充実」、円滑な道路交通を確保するための「道路ネットワークの充実」、環境負荷の低減や、あらゆる人々の利用に対応するための「ひとや環境にやさしい交通環境の創出」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、円滑で利便性が高く、ひとや環境にやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
--------------	--------------------------------	----------------	------------------------	-------------	--	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	道路ネットワークの充実						H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	施策指標(単位)														
②施策目標	円滑で機能的な道路ネットワークが構築されています						実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----	100.0%		
③施策を 取巻く環境	国・県等の動向	国においては、道路特定財源の一般化に伴い、従来の地方道路整備臨時交付金に代わって、平成21年度に地域活力基盤創造交付金が創設された。その後、平成22年度には新たに社会資本整備総合交付金が創設され地域活力基盤創造交付金も統合されるなど、国の制度もめまぐるしく変化している。また、政権交代により、建設に伴う補助金等が減額された。					指標① (総合計画に基づく指標)	都市計画道路の整備率	-----	63.4	64.1	64.8		65.5	66.2
		外部意見 その他	平成20年6月、宇都宮市議会の一般質問において、「道路特定財源の一般財源化後の対応」と、「都市計画道路の整備方針見直しが必要ではないか」との質問があり、「一般財源化が実施されても、今後とも、事業の優先化・重点化を図りながら、限りある財源を効果的に活用し、暮らしやすいまち、魅力あふれるまちの実現に向け、都市基盤整備を着実に進める」と答弁している。					指標②	都市計画道路の未整備延長(km)	-----	-	-			
	指標③			約106	-	約96									
						指標④ (特記事項)							-----		
⑤市民意識調査結果	市民の 施策満足度	33.6%	市民の 施策重要度	56.7%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	都市計画道路整備をはじめ、その他の道路整備事業についても計画的に事業を実施し、目標は達成している	⑦現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点  改善の必要な点	目標は達成しているが、道路整備事業に対するニーズは依然として高いことから、今後も各道路の機能や役割に応じた効果的な整備を行っていくとともに、「道路見える化計画」の中で対策の内容や成果などについて公表を行っていく必要がある。  道路整備に係る財源については、引き続き厳しい状況にあることから、国の新交付金制度等の情報収集を図り、確実な財源確保に努めるとともに、今後も補助金等の効果的・効率的活用を図りながら、計画的に整備を進めていくことが重要である。		
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	平成21年度の市民意識調査では、当施策を重要視している割合が約57%であるのに対し、満足度は約34%にとどまることから、交通環境整備に対するニーズは高い							
			適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	円滑で機能的な道路ネットワークの構築に必要な事業に計画的に取り組み、各事業については、概ね目標を達成しており、進捗状況としては十分である							
			有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	道路ネットワークの成実は、円滑で利便性の高い道路交通をつくる上で重要な事業であり、各路線ごとに整備を実施し、効果をあげている							

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	目標は達成しているが、道路財源をはじめ、施策を取り巻く状況はさらに厳しくなると思われる。円滑で機能的な道路ネットワークを充実させるために、今後も費用対効果や緊急性などを十分に考慮しながら、各事業に取り組んでいく。	➡	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑で機能的な道路ネットワークの充実を図るために、各事業が相互に連携した計画的な道路整備を進めるとともに、費用対効果や緊急性などを十分に考慮し、取り組んでいく。(都市計画道路の整備計画延長 約28.4km)</li> <li>道路ネットワークの構築に向け、幹線道路や生活道路など整備効果の高い路線や区間の整備を進めていく。また、各道路の機能や役割分担に応じ、必要性・優先度を検討し、今後の道路整備の整備方針を策定する。</li> <li>財源の確保が厳しい状況の中で、各事業の個別路線に対し、更なる見直しを図り、スクラップ&amp;ビルドを行っていく。</li> </ul>
	重点事業	道路ネットワークの構築に向け、整備効果の高い路線や区間の整備を進めていく。また、効果的・効率的な事業実施を行うため、路線や区間毎に、必要性・優先度を検討し、今後の道路整備の基本方針を策定する。			
	見直し事業	財源の確保が厳しくなる中で、各事務事業の個別路線に対し更なる事業の見直しを図り、スクラップ&ビルドを徹底する。			

様式 2

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名		対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度(A~C)	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						目標値	目標値	事業費	事業費			
						実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	都市計画道路整備事業		市民・道路利用者	S46	整備延長(m)	60	570	1,591,448	1,901,933	A	継続	円滑な道路ネットワークの形成や交通容量の拡大を図るため、計画的・効果的に事業を進める
	担当課	道路建設課				60	570					
2	幹線市道整備事業		市民・道路利用者	H11	整備延長(m)	510	1,020	1,371,340	1,435,622	A	継続	円滑な道路ネットワークの形成や交通容量の拡大を図るため、計画的・効果的に事業を進める
	担当課	道路建設課				520	998					
3	幹線市道整備事業(上河内スマートインターチェンジ)		市民・道路利用者	H20	整備済箇所数(箇所)	0	0	51,095	59,744	A	継続	スマートインターチェンジの利便性を高め、円滑な交通確保を図るため、東北方面からの利用も可能とするフルインター化を進める
	担当課	道路建設課				0	0					
4	道路改良事業(生活道路)		市民・道路利用者	-	整備延長(m)	1,644	510	528,839	276,929	A	継続	市域における交通の安全性や利便性の向上を図るため、選択と集中を図りながら、事業を進める
	担当課	道路建設課				1,816	2,334					
5	プロジェクト関連整備事業		市民・道路利用者	-	整備延長(m)	578	510	477,485	291,544	A	継続	新設される公共施設へのアクセス性向上と、発生する交通を円滑に処理するため、計画的に事業を進める
	担当課	道路建設課				719	728					
6	道路バリアフリー推進事業		全ての道路利用者	S61	点字ブロック整備延長(m)	1,500	1,200	117,617	150,667	A	継続	障がい者や高齢者を含めた全ての人に対し安全・安心な歩行空間を確保するため、計画的に事業を進める
	担当課	道路維持課				1,011	1,830					
7	交差点改良事業		市民・道路利用者	H13	整備済箇所数(箇所)	1	2	21,329	247,268	A	継続	交差点内の安全性の向上や渋滞解消を図るため用地買収等を継続的に進めており、選択と集中により事業を進める
	担当課	道路建設課				0	2					
8	踏切改良事業		市民・道路利用者	H13	整備済箇所数(箇所)	0	0	211	0	A	継続	踏切での安全性の向上や渋滞解消を図るため用地買収等を継続的に進めており、今後も計画的に事業を進める
	担当課	道路建設課				0	0					
9	橋りょう新設改良事業		市民・道路利用者	-	整備済箇所数(橋)	0	1	18,439	76,923	A	継続	円滑な道路ネットワークを構築するため今後も計画的に橋りょうの整備を行っていくとともに、整備に必要な用地買収等も継続的に進める
	担当課	道路建設課				0	0					
10	橋りょう維持修繕事業(耐震補強・長寿命化)		全ての橋りょう利用者	H6	修繕橋りょう数(橋)	6	5	78,579	164,776	A	継続	橋りょうの長寿命化を図り安全な交通機能を確保するため、耐震補強等の整備を効率的・効果的に進める
	担当課	道路維持課				1	10					
11	舗装新設改良事業		市民・道路利用者	-	舗装整備延長(m)	2,970	3,880	188,179	272,450	B	継続	道路機能を高め道路の安全性・走行性の向上を図るため、適切・効果的に整備を進める
	担当課	道路維持課				5,022	8,140					
12	道路排水施設整備事業		市民・道路利用者	-	側溝整備延長	400	350	11,166	18,598	B	継続	道路冠水被害や通行の安全確保及び生活環境の向上を図るため、効率的・効果的に整備を進める
	担当課	道路維持課				286	441					
13	宇都宮市上河内道路愛護補助金		道路愛護団体	H19	団体数(団体)	29	29	100	50	C	廃止	合併協議の中で補助制度については、段階的に廃止(平成19~21年度)することとしたものである
	担当課	土木管理課				29	28					
施策事業費合計								4,455,827	4,896,504			